

オオムギスゲ(大麦菅)



①雌小穂. 多数の果胞からなる
②オオムギスゲ(右)とノゲヌカスゲ(左)の雌小穂の比較
③採集地点(博物館収蔵標本より)

カヤツリグサ科スゲ属 (*Carex*) は、世界に 2000 種以上、日本に 270 種以上が知られています。岡山県では約 105 種 (変種など含む) の記録があり、今回紹介する**オオムギスゲ** *Carex laticeps* はその一つです。

オオムギスゲの名は、雌小穂 (しょうれい) と呼ばれる雌花や実のまとまりが、大麦のような見た目であることにちなみます (①)。雌小穂は長さ 2 cm 前後、実 (果胞 (めほう)) は長さ 6 mm に達し、似た見た目のノゲヌカスゲやアオスゲなどと比べて 2 倍以上の大きさがあります (②)。また、植物体は白い毛で密に覆われています。独特な姿をした格好良いスゲです。

オオムギスゲの日本における分布域 (国外では朝鮮半島、中国に分布) は、中国地方の瀬戸内海沿岸にほぼ限られており、岡山県では南西部を中心に分布します (③)。人里の道ばたや明るい樹林に生えるために開発などの影響を受ける恐れがあり、岡山県版レッドデータブック 2020 で「留意」と評価されています。

鐵 慎太郎(植物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

